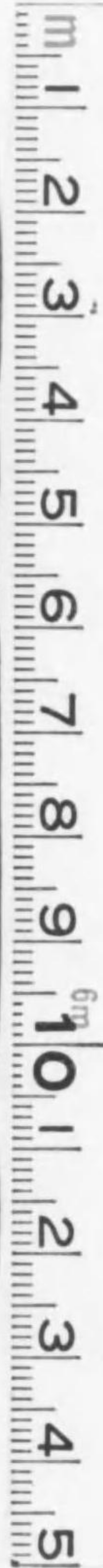


特279-14



1200601101911

考古圖集



始





I種

W



1200601101911

考古圖集解説 第二十八集

第一上代工藝美術號

(271) 朝鮮發見帶鉤(藤田亮策氏所贈寫真)

帶鉤は帶金具の一種にして、鉸具と同じく、帶を締むるに用ふるものなり。本遺品は朝鮮慶尙北道永川郡琴湖而漁隱洞古墳發見のもの、今は朝鮮總督府博物館の藏品となれり。青銅製、虎を象れるが如し。

Berthold Laufer 氏が、其の著「Jale」に於いて、「帶鉤は古く存せざりき。鉤の文字は史記には三出せしが、共に馬具の金具なりき。之が後に人の帶金具となりしなり。古式のものに馬首を現はせしものあるは、以てその起源を語るべきもの、馬首を現して著用者に馬の力を快速を預けんとするに寓意せるものなりといふ説も斥くべきに非ず」と論ぜられしが、時に本遺品の如き虎首を象れるものもあるなり。

(272) 帶鉤

備中國都窪郡加茂村大字新庄下古墳發見のもの、和田千吉氏は之が略報を試みられしことあり。(考古學雜誌第九卷

(65) 第二十八集 解説

第十一號曰はく「帶金具、銅製にして馬形六向、環一個あり。環は馬の足を以て懸け得らる。馬形金具の裏面は平なる布に取付られたるものなるべく、現に一個には裏面に金具に接して縦横同太さの荒き麻布附著し其上に縦太く横細き麻布の附著を見る。其裏面に彎曲せる手法は甚だ巧妙を極めたり。」と。圖版向つて右上は表面を表せるものにして最も形の整へるもの、前後足間にある文様に注意すべし。その下は、裏面を示せるもの、更に下は鍍なり。帶鉤は支那系統の裝身具の一なるべく、我にあつてはこの新庄下の發見あるのみ。

(273) 杏葉

杏葉が馬具の一なることは註記を要せざるべし。本遺品は、大和高田市郡白檜村大字妙法寺字ヨウガミ發見のもの、他に伴出品なかりしといふ。左右長さ三寸八分、高さ三寸四分、金銅製、文様は一種の唐草文なるべし。

(274) 杏葉(柴田常惠氏所贈寫真)

前圖版に比して、唐草文の形の類れず、作のすぐれしものあるを見るべし。日向國兒湯郡百塚原古墳發見。金銅製。日向の如き地に六朝藝術の浸透し行きし迹を見るべきもの

こして注意すべし。

(275) 雲珠 (柴田常惠氏所贈寫眞)

雲珠は馬具の金物の一にして、馬背部の辻金物なり。發見地同上。雲珠は多く單なる半球形をなせるに、本遺品は之に唐草文を透彫にせるを珍むす。

(276) 杏葉

上野國發掘に傳ふ。杏葉の金物なるべく、大形なるを偉むす。向つて右は下部を缺失せるも、圖様の見るべきを以て載せ、左のミ相對照せり。共に金銅製にして唐草を透彫にせるもの、右は長四寸四分、左は長四寸八分。

(277) 杏葉

遠江國榛原郡初倉村大字牧原小字御小家古墳發見のもの。鐵地金銅張、文様のすぐれしを見るべし。幅三寸四分。

278 書

前者ミ作出せるもの、鐵地金銅張、鏡板に透彫文様を施せり。長徑三寸一分、引手長五寸一分。

(279) 帶金具

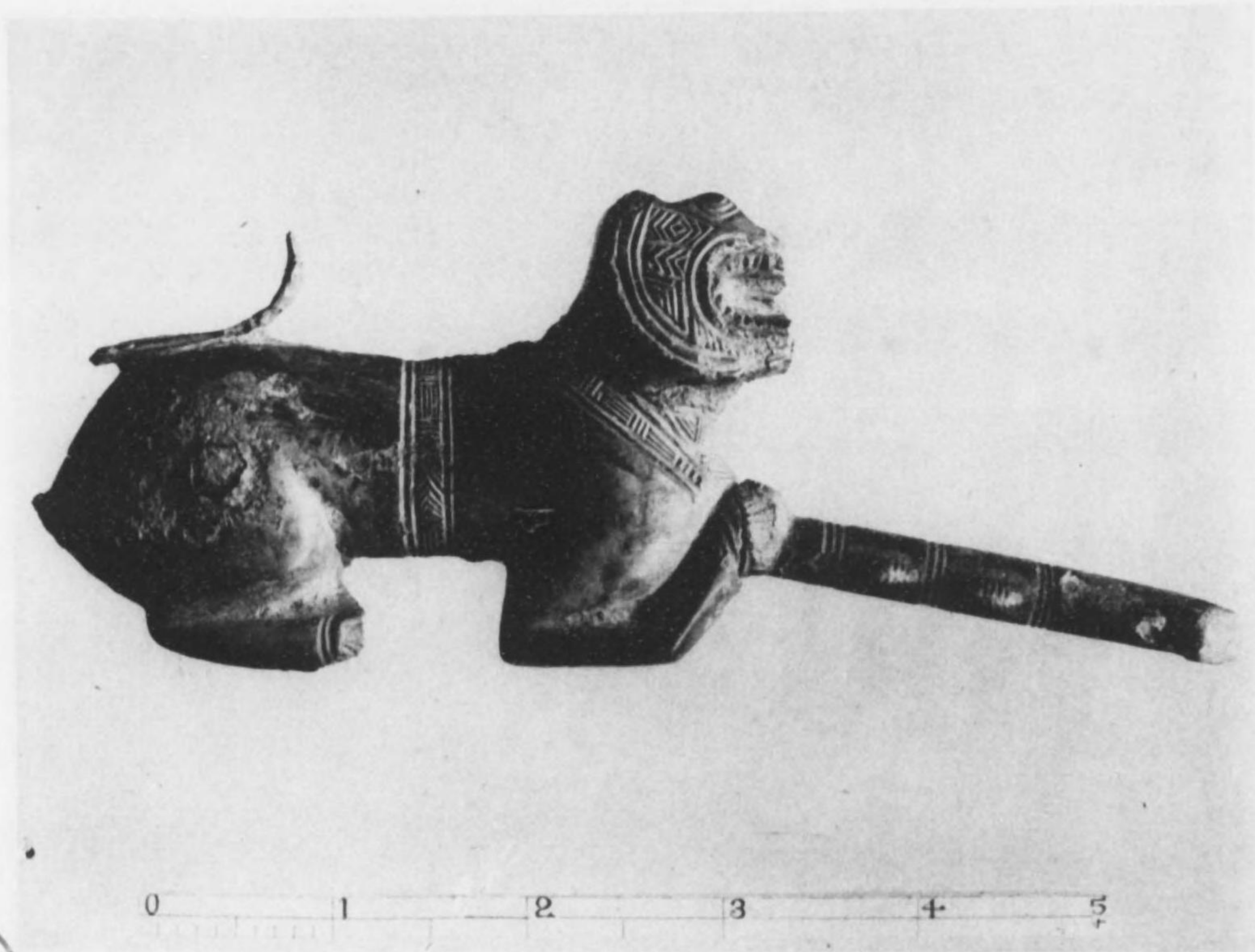
この種の金具が帶金具なることを確實にせしは、朝鮮に於ける古墳研究の結果なりといふべし。今我が古墳發掘遺物の中より二三を採つて載せたり。3は筑前國嘉穂郡飯塚町大字西町字樺山古墳發掘のもの、銅に鍍銀をなし、更に鍍金をせり。銚の幅一寸七分・長さ三寸二分、裏に麻布つけり。しからは麻布製の帶ありしか。1 2 4 5は山城國葛野郡松尾村大字下山田字穀塚發見のもの、1 2は堅一寸二分・横一寸八分、内に透し彫りせる龍形を現せり。4 5も帶金具なるべし。龍形を薄肉彫にせり。

(280) 金具 (藤田亮策氏所贈)

朝鮮慶尙北道善山郡古墳發見のもの、銅製、透彫なりといふ。その用途は明かならざるも、圖様表現の手法凡ならす。

銅帶
(藏館物博府百總計例)

271



1200601101911

第二十八集(上代工藝美術部)



第二十八集（上代工藝美術叢）



1200601101911

杏葉
(東京帝國博物館藏)

273



第二十八集(上代工藝美術號)



1200601101911



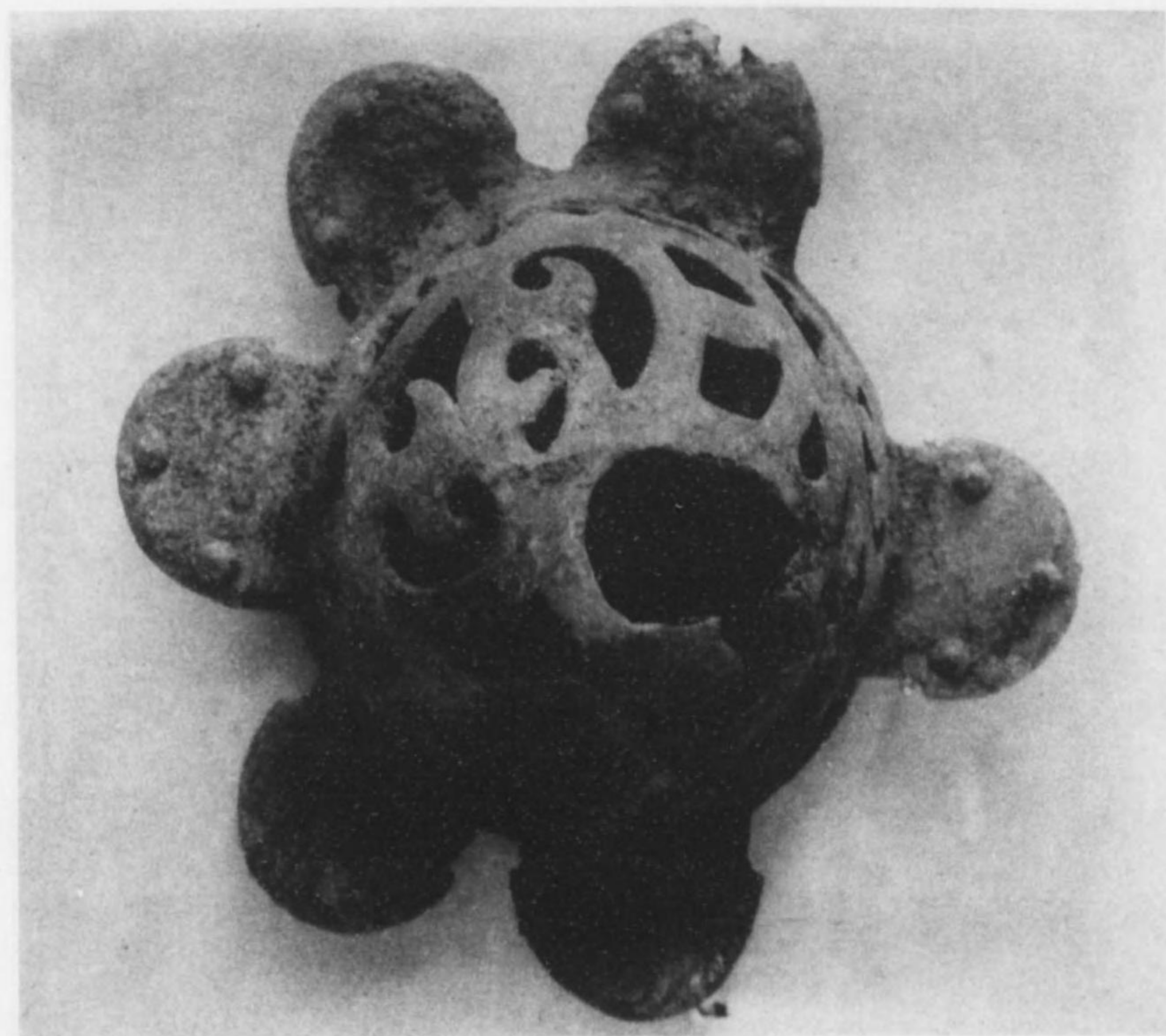
第二十八集（上代工藝美術）



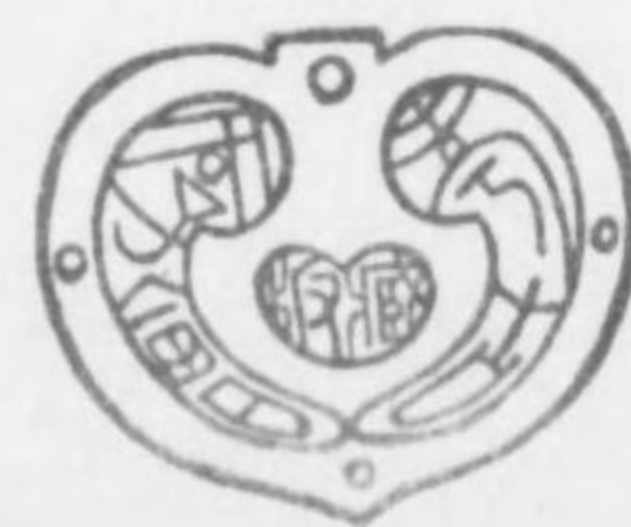
1200601101911

珠 雲

275



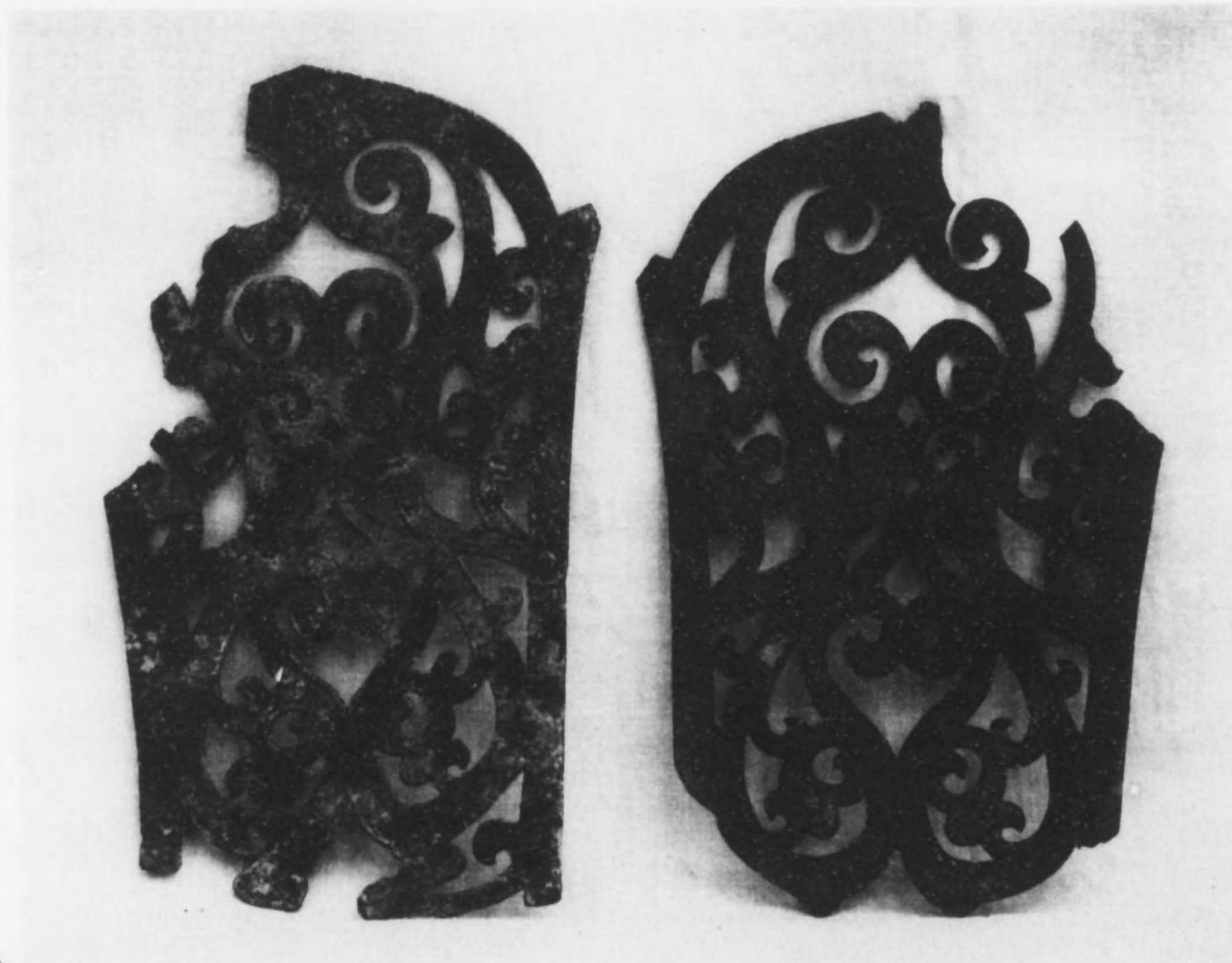
第二十八集（上代工藝美術號）



1200601101911

杏葉金具
(東京帝國博物館藏)

276



第二十八集(上代工藝美術號)



1200601101911

葉 杏
(東京帝國博物館藏)

277



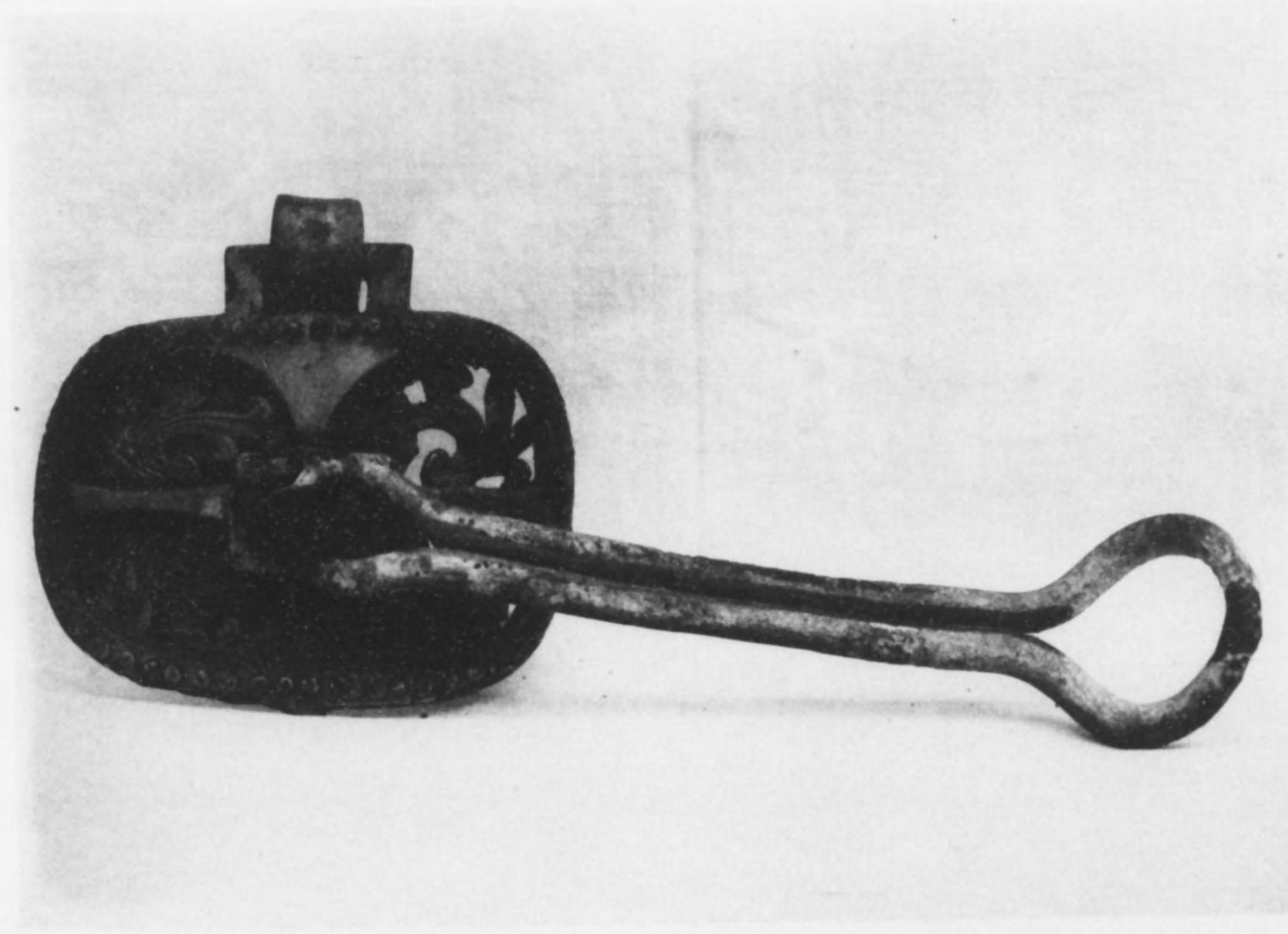
第二十八集(上代工藝美術號)



1200601101911

櫛
(藏館物博室帝京東)

278



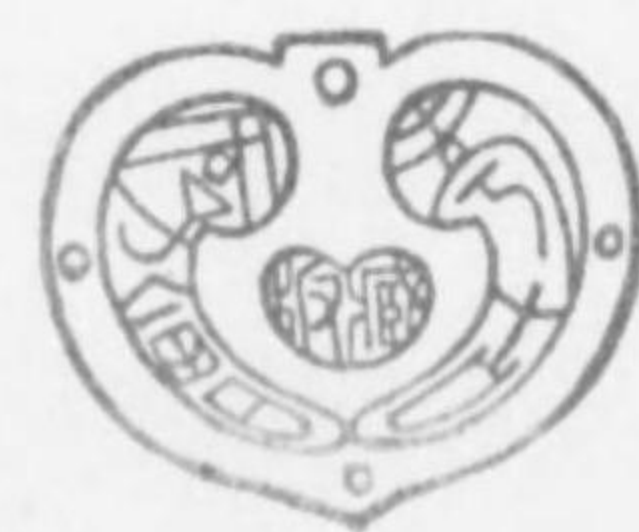
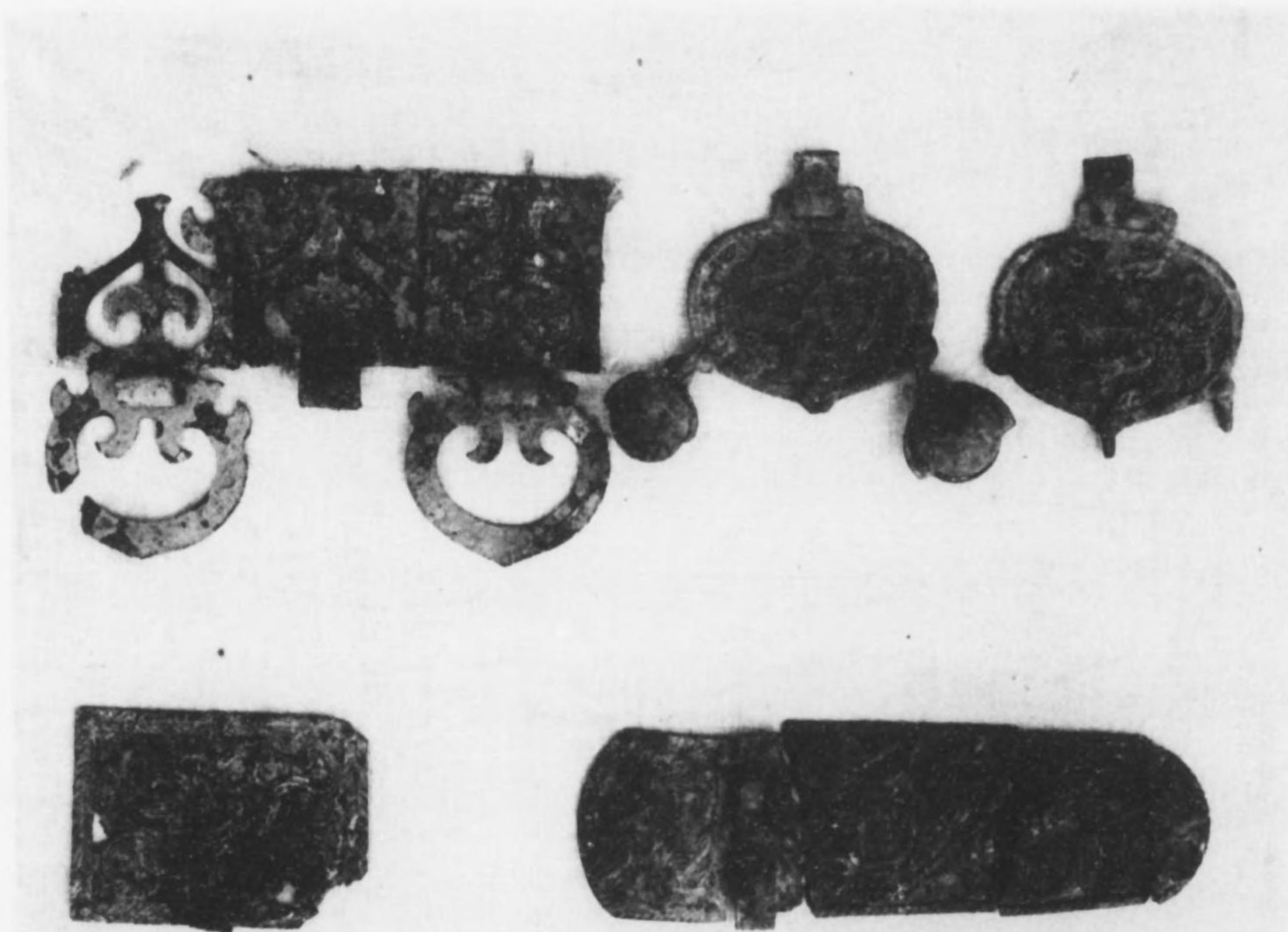
第二十八集(上代工藝美術號)



1200601101911

具 金 帶
(藏館物博室章京史)

279

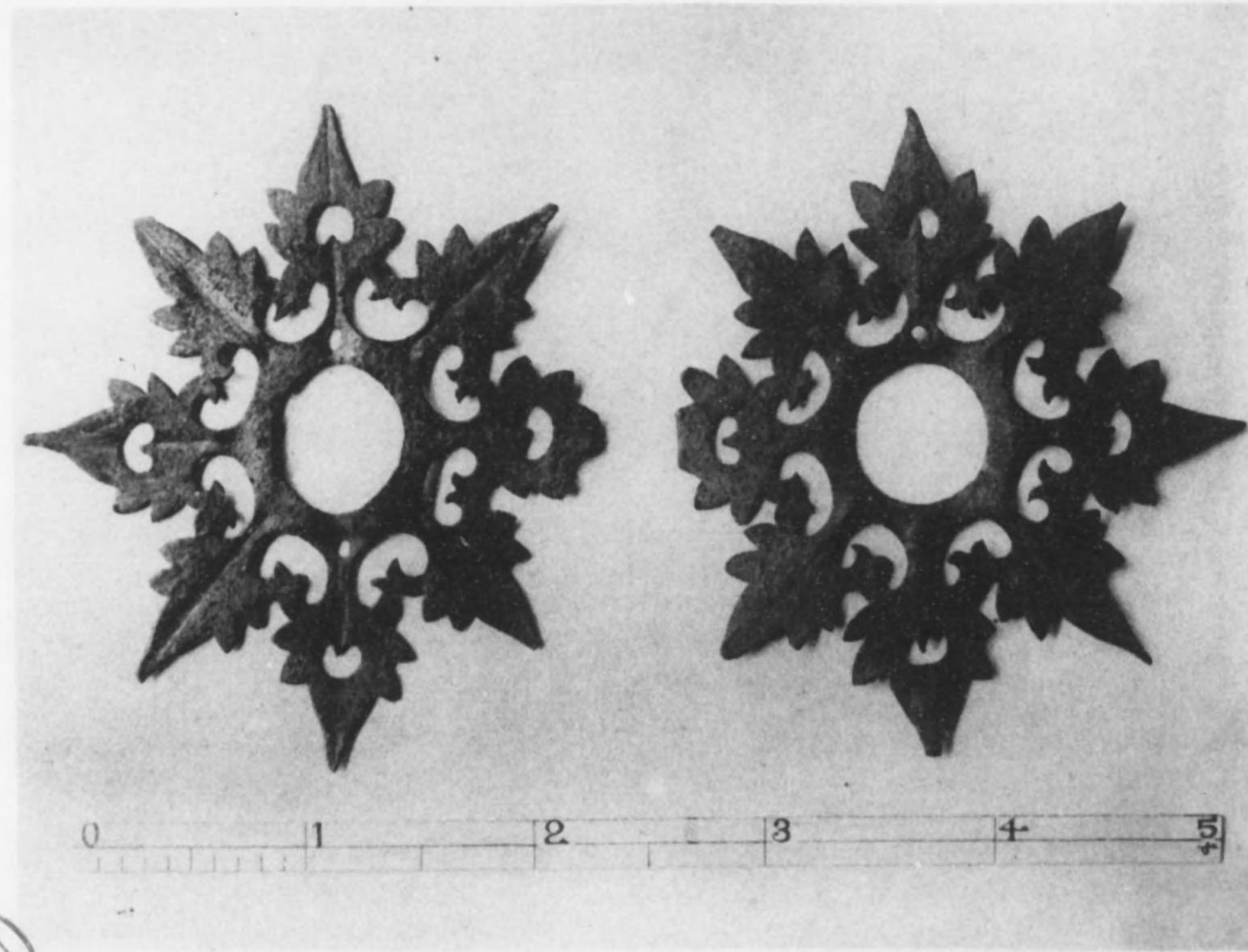


1200601101911

第二十八集(上代工藝美術號)

金 具
(藏氏進之房貝結)

280



1200601101911

第二十八集 (上代工藝美術)

大正十二年五月七日印刷
大正十二年五月十日發行

不許
複製

總編輯者
東京市下谷區上根原町八十八番地
考古學會
代表者
東京市下谷區上根原町八十八番地
高橋健白
印刷者
東京市神田區與田橋六番地
大塚
印刷所
東京市神田區與田橋六番地
大塚巧藝社
發賣所
東京市本郷區龜田町三十四番地
聚精堂

終